



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月8日

上場会社名 株式会社ロジネットジャパン
 コード番号 9027 URL <http://www.loginet-japan.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 輝美
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画管理本部副本部長 (氏名) 橋本 潤美
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 札
 TEL 011-251-7755

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	42,562	5.4	2,155	19.2	2,158	21.0	1,484	16.6
29年3月期第3四半期	40,378	0.2	1,807	52.9	1,783	50.9	1,272	17.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,519百万円 (4.1%) 29年3月期第3四半期 1,585百万円 (54.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	243.28	
29年3月期第3四半期	208.54	

(注) 当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	30,454	10,146	32.7	1,630.21
29年3月期	27,962	8,820	31.0	1,419.50

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 9,945百万円 29年3月期 8,664百万円

(注) 前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				15.00	15.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金及び年間配当金については、株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,200	4.2	2,420	10.7	2,400	10.3	1,500	0.7	245.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	7,010,681 株	29年3月期	7,010,681 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	910,169 株	29年3月期	906,765 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	6,101,511 株	29年3月期3Q	6,104,257 株

(注) 前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている将来の業績及び計画等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

2. 当社は平成29年6月28日開催の第12期定時株主総会において、単元株式数の変更、株式併合及び発行可能株式総数の変更に係る議案が承認されました。これに伴い、平成29年10月1日を効力発生日として、当社普通株式の売買単位である単元株式数を1000株から100株に変更し、普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施いたしました。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下の通りです。

- (1) 平成30年3月期の配当予想
1株当たり配当金 15円00銭
- (2) 平成30年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 122円88銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績は雇用環境の改善や個人消費の持ち直しなどにより緩やかな回復基調で推移したものの、海外における経済・政治情勢による影響など、引き続き先行きは不透明な状況にあります。物流業界においても、運賃単価の引き上げなどによる収益改善の動きはみられるものの、人材確保のための労働環境の改善や原油価格の高止まりなどコスト負担は増加しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは昨年度からスタートした中期経営計画に基づき、新たな事業分野への積極的な参入や長距離幹線輸送の新しい輸送サービスの開発・販売など、東名阪での区域事業に事業主体を移行するとともに、既存の物流網の見直し、変化する市場環境、経営環境に即した組織再編や社内制度の整備を進めるなど、将来を見据えた取組みを進めてまいりました。

その結果、札幌通運グループにおいては、本州地区での新規事業の取扱増加や引き続き適正運賃の収受を推進したことなどにより、営業収益は前年同期比24億4千4百万円増(+8.4%)の315億5千1百万円、セグメント損益については前年同期比4億2千6百万円増(+37.1%)の15億7千7百万円となりました。

一方、中央通運グループにおいては、鉄道利用運送部門の業績が安定的に推移したものの、建設運輸部門の業績が伸び悩んだことから、営業収益は前年同期比1億2千2百万円増(+2.5%)の50億9千8百万円、セグメント損益については前年同期比2千4百万円減(△6.8%)の3億3千2百万円となりました。

また、ロジネットジャパン西日本グループにおいては、前事業年度の顧客の入れ替えの影響もあって、営業収益は前年同期比4億1百万円減(△6.8%)の54億8千6百万円、セグメント損益は前年同期比1億5千5百万円減(△44.8%)の1億9千1百万円となりました。

これらの結果、当社グループ全体の営業収益は、前年同期比21億8千4百万円増(+5.4%)の425億6千2百万円となりました。営業利益は前年同期比3億4千7百万円増(+19.2%)の21億5千5百万円、経常利益は前年同期比3億7千4百万円増(+21.0%)の21億5千8百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比2億1千1百万円増(+16.6%)の14億8千4百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の総資産は、前期末から24億9千1百万円増加し、304億5千4百万円となりました。

このうち、流動資産は営業未収入金、その他流動資産の増加などにより23億5千8百万円増加し、113億2千7百万円となりました。また、固定資産は車両の取得などで1億3千3百万円増加し、191億2千7百万円となりました。

当第3四半期末の負債は、前期末から11億6千5百万円増加し203億8百万円となりました。

このうち、流動負債は営業未払金の増加などにより18億9千7百万円増加し、168億5千万円となりました。また、固定負債は長期借入金の返済を進めた結果7億3千2百万円減少し、34億5千7百万円となりました。

これらの結果、純資産は13億2千5百万円増加し101億4千6百万円となり、純資産から非支配株主持分を控除した後の自己資本比率は32.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては平成29年5月12日発表値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	512,657	1,253,882
受取手形	782,702	858,305
営業未収入金及び売掛金	6,375,343	7,576,995
たな卸資産	56,788	82,707
繰延税金資産	145,834	84,561
その他	1,102,869	1,478,225
貸倒引当金	△6,908	△7,339
流動資産合計	8,969,287	11,327,337
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,509,746	3,499,794
機械装置及び運搬具(純額)	4,728,717	4,973,879
リース資産(純額)	826,295	810,671
土地	5,967,975	5,967,975
その他(純額)	397,816	389,161
有形固定資産合計	15,430,551	15,641,481
無形固定資産	217,734	214,596
投資その他の資産		
投資有価証券	1,126,566	1,097,261
繰延税金資産	181,631	179,353
差入保証金	1,558,812	1,532,154
その他	489,227	472,827
貸倒引当金	△10,949	△10,657
投資その他の資産合計	3,345,289	3,270,939
固定資産合計	18,993,575	19,127,018
資産合計	27,962,862	30,454,355

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	815,819	999,752
営業未払金及び買掛金	4,591,487	5,238,656
短期借入金	6,425,775	7,049,934
リース債務	186,330	215,152
未払法人税等	351,444	391,310
役員賞与引当金	68,375	—
資産除去債務	66,767	—
その他	2,446,744	2,955,822
流動負債合計	14,952,744	16,850,629
固定負債		
長期借入金	2,702,332	1,975,721
繰延税金負債	244,965	236,571
リース債務	656,580	618,617
役員退職慰労引当金	167,440	196,250
退職給付に係る負債	207,133	218,582
資産除去債務	12,100	11,750
その他	199,345	200,039
固定負債合計	4,189,897	3,457,531
負債合計	19,142,641	20,308,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	567,929	567,929
利益剰余金	7,616,985	8,918,240
自己株式	△535,140	△543,205
株主資本合計	8,649,774	9,942,965
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,713	2,176
その他の包括利益累計額合計	14,713	2,176
非支配株主持分	155,732	201,052
純資産合計	8,820,221	10,146,194
負債純資産合計	27,962,862	30,454,355

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
営業収益	40,378,167	42,562,716
営業原価	37,172,426	38,762,957
営業総利益	3,205,740	3,799,758
販売費及び一般管理費	1,397,753	1,643,788
営業利益	1,807,987	2,155,970
営業外収益		
受取利息	9,210	8,025
受取配当金	36,940	32,918
寮収入	31,603	39,093
その他	64,664	67,685
営業外収益合計	142,420	147,723
営業外費用		
支払利息	63,125	44,969
寮支出	65,806	83,661
その他	37,941	16,946
営業外費用合計	166,873	145,577
経常利益	1,783,534	2,158,116
特別利益		
投資有価証券売却益	22,869	—
出資金持分払戻益	—	180,309
その他	—	2,059
特別利益合計	22,869	182,368
特別損失		
固定資産除売却損	6,773	4,326
減損損失	5,350	—
投資有価証券売却損	—	2,534
その他	163	1,154
特別損失合計	12,287	8,015
税金等調整前四半期純利益	1,794,116	2,332,469
法人税、住民税及び事業税	515,714	747,942
法人税等調整額	△4,788	52,670
法人税等合計	510,926	800,613
四半期純利益	1,283,189	1,531,856
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,214	47,483
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,272,975	1,484,372

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	1,283,189	1,531,856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	301,868	△12,537
その他の包括利益合計	301,868	△12,537
四半期包括利益	1,585,058	1,519,319
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,574,843	1,471,836
非支配株主に係る四半期包括利益	10,215	47,482

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	札幌通運 グループ	中央通運 グループ	ロジネット ジャパン西 日本グループ	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	29,106,261	4,976,695	5,887,352	39,970,309	407,858	40,378,167
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	1,198,492	344,341	659,200	2,202,035	929,600	3,131,636
計	30,304,754	5,321,037	6,546,552	42,172,345	1,337,459	43,509,804
セグメント利益	1,150,712	357,189	347,147	1,855,050	426,888	2,281,939

(注) 「その他」は、持株会社である当社の営業収益及びセグメント利益であります。営業収益は本社ビルの賃貸収入、飲料水の販売収入、グループ会社からの受取配当金及び経営指導料であり、受取配当金がセグメント利益に与える影響額は472,290千円であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,855,050
「その他」の区分の利益	426,888
受取配当金の消去	△472,290
その他の償却額	△1,661
四半期連結損益計算書の営業利益	1,807,987

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

ロジネットジャパン西日本グループが運営するゴルフ練習場の資産グループにおいて、閉鎖の意思決定をしたことにより当該資産グループに係る固定資産の回収可能価額が大きく低下したと判断したため、当該資産グループに係る資産の帳簿価額を回収可能額まで減額し、5,350千円を減損損失として計上いたしました。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	札幌通運 グループ	中央通運 グループ	ロジネット ジャパン西 日本グループ	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	31,551,243	5,098,745	5,486,155	42,136,144	426,572	42,562,716
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	1,308,650	366,607	1,250,925	2,926,183	1,153,818	4,080,001
計	32,859,893	5,465,353	6,737,080	45,062,327	1,580,391	46,642,718
セグメント利益	1,577,476	332,786	191,514	2,101,777	435,741	2,537,519

(注) 「その他」は、持株会社である当社の営業収益及びセグメント利益であります。営業収益は本社ビルの賃貸収入、飲料水の販売収入、グループ会社からの受取配当金及び経営指導料であり、受取配当金がセグメント利益に与える影響額は380,042千円であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,101,777
「その他」の区分の利益	435,741
受取配当金の消去	△380,042
その他の償却額	△1,506
四半期連結損益計算書の営業利益	2,155,970